

# 「憲法九条を守るわかやま県民の会」ニュース

発行「憲法九条を守るわかやま県民の会」事務局

県地評 Tel 073-436-3520 Fax 073-436-3554 E-mail w-chihyo@naxnet.or.jp

## 第十一回署名一斉行動

### 和歌山市九条センター

和歌山市共同センターは9月19日(日)市内一斉の署名行動を実施。楠見、和歌浦・名草、四ヶ郷、高松、伏虎・城東、ひがし地域の計6個所で参加者50人、250筆の署名を集めました。日曜日でもあり、留守が多かったが、会えたところは全体として反応がよく、「戦争で2人死んでいる」「戦争に反対せなあかん」「よう来てくれた」「あがってお茶飲んでいき

な」など好意的に対応してくれました。しかし、中には「戦争はいけないが、どうやって日本を守っていくのか、納得が出来ない」という方もありました。和歌山市では、これまで「県民の会」が呼びかけたものや和歌山市共同センター独自の一斉行動など2007年9月以来、11回の行動を行い、累計で1126人の参加、5923筆の署名を集めています。

### 「私の親も戦争で

#### 亡なったんよお」

##### 楠見地域



9月19日(日)秋晴れのもとで開かれた和歌山市の一斉伝署名行動。高教組第二支部は楠見地区と和歌浦・名草地区での行動に組合員9名(と家族1名)が参加した。私が参加した楠見地区では事前ピラなど入念な準備をしていくれているので「チラシ入れてくれちゃあつたなあ」との声がたくさん聞かれた。「私の親も戦争で亡なったんよお」と話をしてくれる女性や「戦争ら、

あかな」と不自由な手で懸命に名前を書いてくれた男性など思いのこもった署名をいただくことができた。インタフォン越しに断られることもあったが、対面して話ができただ方にはほぼ署名をしてもらった。「9条は大切。守らない」と思っている人の声を集めるには積極的に働きかけることが重要だとあらためて感じた行動であった。

(高教組第二支部書記長 山入桂吾)

### 「井上ひさしさんを偲んで

#### DVDを観る会」

### 「九条の会和歌山」結成五周年記念企画

9月18日土曜日、勤労者総合センターで約60名が参加して開催されました。会場は、追加の椅子も準備されるほどの盛況で、活気にあふれていました。最初に呼びかけ人の一人である江川治邦氏が開会挨拶をした後、故井上ひさしさんが岐阜で講演されたDVDが上映され、戦争の愚かさや平和を守るうとする人々や国々の努力を100年前に遡りながら、井上さんらしく大変わかりやすい口調で話された内容でした。記録の関係で聞きづらい音声でしたが、逆に集中して聴くことができました。

続いて、6月19日に開催された合同講演会「井上ひさしさんの志を受けついで」の中から、澤地久枝さんが話された内容が短時間ながら上映されました。その中で澤地さんは、沖縄問題に触れながら、「なぜ日本政府は新しい日米関係をつくるうとしないのか」と怒り、全国9条の会が「モグラたたきの用に、権力にたたかれても、たたかれても頭を出すように、活動を強め広げよう」と訴えました。(藤井穂住)



## 比例定数削減は九条改憲への道

### JR和歌山駅前九日宣伝

9月9日「憲法9条を守るわかやま県民の会」と和歌山市9条センターは11時からJR和歌山前で9日宣伝署名行動を行いました。9月になってもおさまらない猛暑の中、3人がマイク宣伝にたち、それぞれ「憲法9条を持つ日本に米軍基地は要らない。普天間基地の海兵隊はイラクやアフガニスタンに派兵される

殴り込み部隊。決して抑止力ではありません。国際法に違反して米軍が住民から奪い取ったもの。無条件撤去意外に解決はありません。」民主党政権すめようとしている比例定数削減は9条改憲への道につながる危険なうごき」「国民一人一人が9条守れの声があげることが大切。」と訴えました。この日は、13人の参加で署名44筆が集まりました。

### 和歌山市九条センター 秋の憲法学習会

日時 十月十六日(土) 午後一時三十分  
場所 プラザホープ四階

講演 「民主党政権の新段階と構造改革、憲法の行方」  
講師 渡辺 治 (一橋大学 名誉教授)

\*資料代 五百円

### 中村哲氏講演会

日時 十月二十九日(金) 十八時三十分  
場所 和歌山市民会館 小ホール

主催 九条ネットわかやま 憲法九条を守る 和歌山弁護士会の会  
\*入場協力券 五百円